

〈新木場〉気になるスポット 「新木場フィールドASOBIBAを訪ねて」

月報委員
日向 進

3月中旬、新木場1丁目の瀧口木材さんの倉庫にある、知る人ぞ知る「サバイバルゲームフィールドASOBIBA」を訪ねて参りました。当日は瀧口木材の瀧口宇一郎専務にご紹介いただき、運営会社マネージャーの古川祥智雄さんに新木場フィールドの魅力を、庄司副理事長と本西委員長と一緒にご案内いただきましたので、ご紹介をさせていただきます。

どんなところ？

約4年前に新木場にフィールドをオープン。エアガンを使ってBB弾を発射、相手を狙って打つという遊びで、一時期サバイバルゲームが流行り、サバゲー女子なる言葉が一時期ブームとなりました。その中で、実際にゲームが体感できる遊び場として、いまは池袋、秋葉原など、それぞれ違う独自のフィールドがあり楽しめるとの事。ここ新木場は、倉庫を使った2層の立体フィールドで、10歳以上の子供からできる親子サバゲーや一人でも参加できるフリー戦ができ、またいつでも（要相談で）貸し切り予約ができるなど、いろいろなニーズに柔軟に対応できる場所として、大人から子供まで広く楽しめるスポットになっております。



知る人ぞ知る隠れスポット入口



入口受付にはレンタルコスチュームがずらり

なぜ新木場に？

広い空間となる倉庫を探していたところ、偶然にも条件の合う新木場の倉庫が見つかり、たまたま新木場にフィールドができたようです。

どのように遊ぶのか？

一式レンタルもでき、入口受付にはコスチュームや銃が選べるように並んでいます。お聞きすると、たとえば1万8千円5時間6人で貸し切りゲームができるとの事。またここ新木場フィールドは深夜でもゲームができ、サバゲー仲間が日頃のストレス発散に通ってくるようです。芸能人もたびたび訪れることがあるといい、最近ではあの木村拓哉、東野幸司なども訪れサバイバルゲームを楽しんだそうです。(他多数)

階段には芸能人のサインが並び、倉庫の2階に上がると休憩室が、そしてフィールド内は薄暗く、いろいろな仕掛けの中をかいくぐり、静寂な倉庫の中を歩いていくと、とても緊張感のあるシチュエーションで、映画やドラマのワンシーンを演じているような気分になります。また初心者の方々に体験会を開催したり、マナーやルール、銃の使い方など、丁寧に教えてくださるので、初めての方でも安心して遊べます。仕事仲間やファミリーで貸し切り楽しむ方も多ようです。



扉を開けると銃が並びサバイバル空間へ



しっかり感染対策を施した休憩室

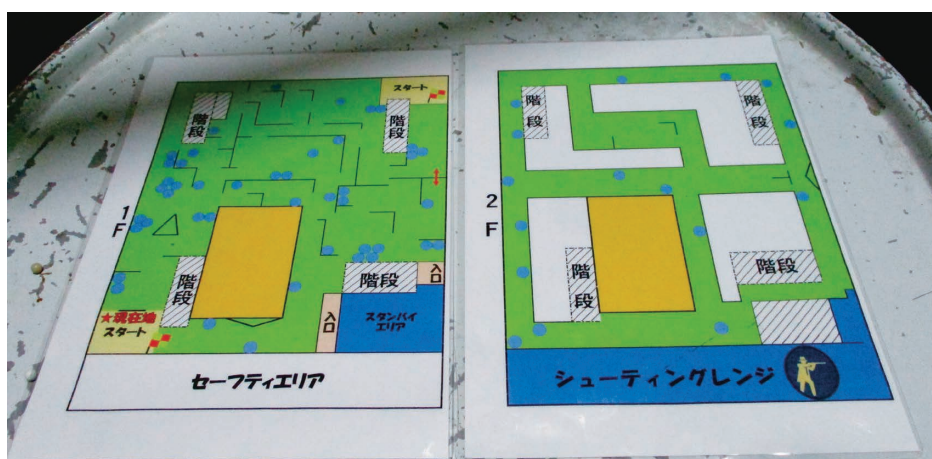
課題と展望？

やはりコロナ禍で、客足も鈍くなり、大変さをうかがいでしたが、少しずつ客足も増えつつあるとの事でした。またどうしても倉庫内なので、安全面には十分に気を使い、走ってはいけないなど、ルールや制限があるようです。しかしそこはマナーを守り、サバイバルゲームの醍醐味を味わいながら皆さんゲームを楽しんでいるとの事。

今後については、サバゲー需要はかなり見込めるようで、どこか大きな倉庫を探しているそうです。ぜひ新木場内でもしあれば教えてくださいとの事でした。



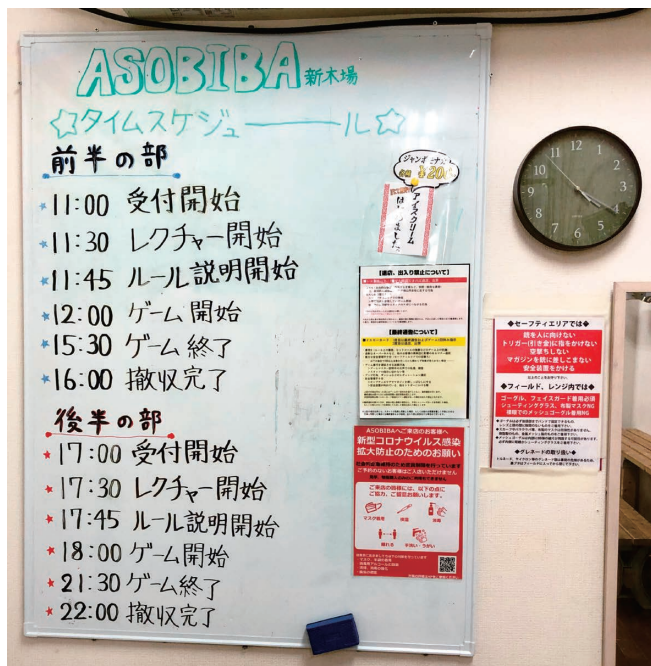
静けさの中にも、緊張感漂うフィールド内（誰かが隠れているかも）



ドラム缶の上に置いてある、フィールドの地図



シューティングレンジ (的を狙い撃ち)



ある日のタイムスケジュール

メッセージ？

マネージャーの古川さんには丁寧にご案内いただき、「初めての方でも、気軽に体験しに来て下さい。」との事でした。ぜひ皆さんも、仲間や家族と日ごろのストレス発散にいかがでしょうか。きっとハマるかもしれません。

新木場フィールド ASOBIBA

東京都江東区新木場 1 丁目2-17 TEL 03-6457-0019 (固定)

営業時間 11:00-22:00 (貸切、フリー参加戦時のみ営業)